

## 施策（２）母子医療体制の維持・強化 ～しっかり見守る親子の健康～

### 1 現状・課題及び方向性

#### <現状・課題>

- 本市では、「妊娠 22 週」から「出生後 7 日未満」までの出産前後の期間、いわゆる「周産期」の医療については、「総合周産期母子医療センター」（※）を含む 4 つの基幹病院で、リスクの高い分娩や高度な治療が必要な新生児に対する専門的医療を提供するとともに、正常分娩を担当する病院・診療所が連携・役割分担しながら、優れた医療体制を構築しています。

さらには、市立八幡病院内の「小児救急・小児総合医療センター」をはじめとする 24 時間 365 日対応の小児救急医療体制により、軽症から重症患者まで、総合的な小児救急医療を提供しています。

- 今後、出生数の減少に伴って、分娩を担当する病院や診療所が減少していくことが予想されます。また、働き方改革など医師の負担軽減の必要性などに伴って、現在の 24 時間 365 日対応の救急医療体制にも、支障が生じる可能性もあります。
- 子どもを対象とした予防接種の接種者数、接種率は、高い水準で推移していますが、一定程度の未接種者が存在しています。

#### <方向性>

- 引き続きこれまでの小児救急医療体制を維持していけるよう、医療機関との連携を強めていきます。
- 予防接種については、これまでの高い接種率の水準を維持しつつ、さらなる接種勧奨を強化していきます。
- 風しん・麻しんなど妊婦や乳幼児への影響が大きい感染症については、抗体検査や予防接種費用の助成など、国の方針等も踏まえながら、市として、引き続き感染拡大の防止に取り組んでいきます。

※市立医療センター、産業医科大学病院

## 2 施策の柱

<b>①</b>	<p><b>周産期医療・小児救急医療体制等の維持・確保</b></p> <p>安心して子どもを産み育てることができるよう、産科医や小児科医の確保に努めるとともに、優れた周産期医療や小児救急医療などの体制を維持する。</p>
<b>②</b>	<p><b>子どもの感染症予防の推進</b></p> <p>感染症から子どもを守り、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりのため、定期予防接種の必要性について理解を深め、接種率を向上させるなど、適切な実施に取り組む。</p>

## 3 成果指標

周産期医療、小児救急医療体制の維持	【維持】
予防接種率（麻しん・風しん予防接種の接種率）	【維持】

## 4 施策を推進する主な取り組み

### 柱① 周産期医療・小児救急医療体制等の維持・確保

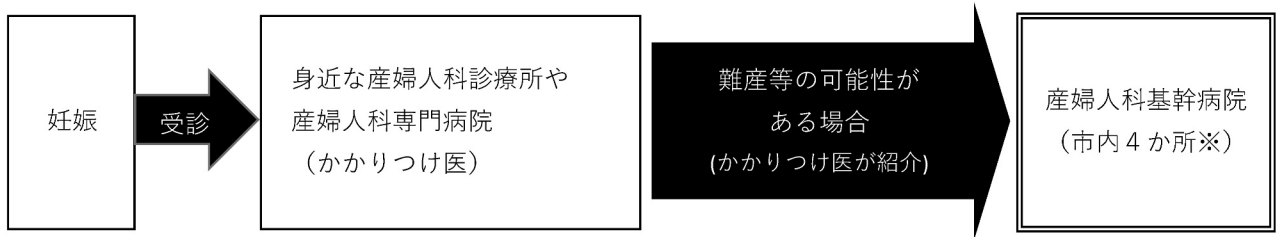
No	取り組み名 担当課	概要
21	周産期医療体制の維持・確保 保健福祉局・地域医療課	市内の周産期にかかわる医療機関による産科連携体制の下、総合周産期母子医療センター等の4つの基幹病院を中核として、リスクの高い分娩や高度な治療が必要な新生児に対する専門的な医療を提供する。
22	小児救急医療体制の維持・確保 保健福祉局・地域医療課	小児救急・小児総合医療センター（市立八幡病院併設）を含め、4つの医療機関が24時間体制で小児の救急患者を受け入れる体制を維持・確保するとともに、市内の小児科にかかわる医療機関との連携を図る。

### 柱② 子どもの感染症予防の推進

No	取り組み名 担当課	概要
23	予防接種事業 保健福祉局・保健衛生課	予防接種法で指定する疾病の発生及びまん延を予防することを目的に、各医療機関で予防接種を行う。 また、感染症から子どもを守り、安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、定期予防接種について理解を深め、接種率の向上等、適切な実施に取り組む。

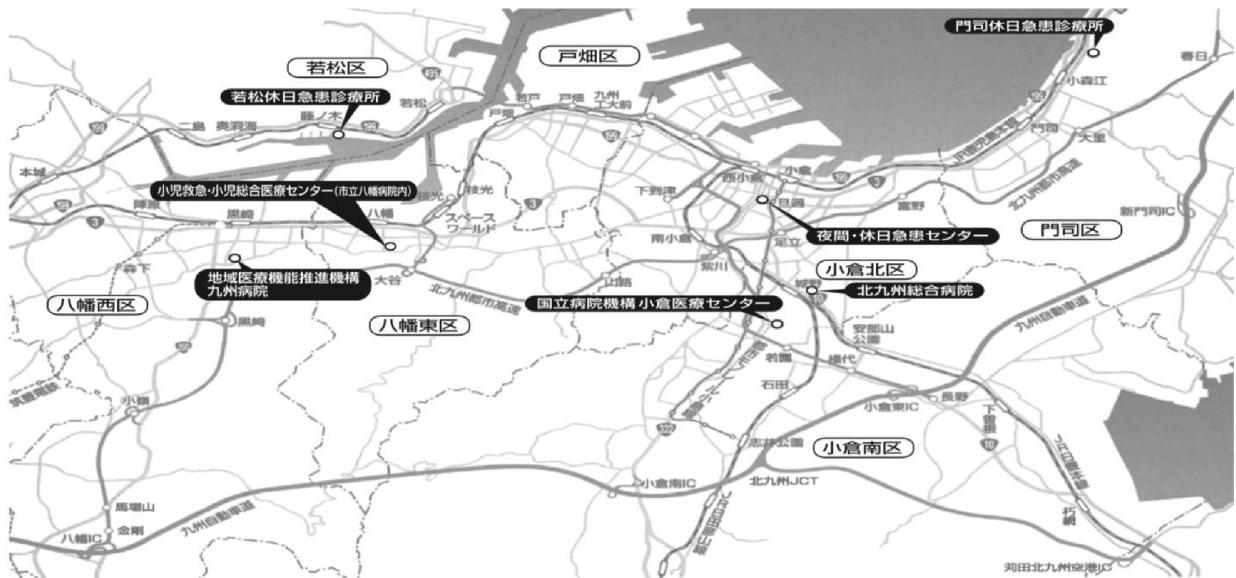
(参考データ)

○ 周産期医療体制



※ 難産等を取り扱う医療機関（産婦人科基幹病院）は、市立医療センター、国立病院機構小倉医療センター、地域医療機能推進機構九州病院、産業医科大学病院の4箇所です。

○ 夜間・休日に小児救急を実施している医療機関



医療機関名	住所	診療時間	☎
小児救急・小児総合医療センター (市立八幡病院内)	八幡東区 尾倉2-6-2	24時間 365日	662-1759
北九州総合病院	小倉北区 東城野町 1-1	月～金 17:00～翌7:00 土・日・祝日 9:00～翌7:00 重症の場合は24時間 365日	921-0560
国立病院機構小倉医療センター	小倉南区 春ヶ丘 10-1	24時間 365日 受診前に問い合わせが必要	921-8881
地域医療機能推進機構九州病院	八幡西区 岸の浦 1-8-1	毎日 9:00～24:00 0:00～9:00 は事前に問合せが必要	641-5111
夜間・休日急患センター (総合保健福祉センター1階)	小倉北区 馬借 1-7-1	月～土 19:30～23:30 日・祝日 9:00～23:30 ※受付は診療終了時間の30分前まで	522-9999
門司休日急患診療所	門司区 羽山 1-1-24	日・祝日 9:00～17:00 ※受付は診療終了時間の30分前まで	381-9699
若松休日急患診療所	若松区 藤ノ木 2-1-29	日・祝日 9:00～17:00 ※受付は診療終了時間の30分前まで	771-9989

○ 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策のうち、施策（２）関係（抜粋）

区分	内容（割合）	平成25年度	平成30年度
就学前 児童 回答者数 H25:1,453人 H30:1,559人	安心して妊娠・出産、子育てできる医療体制	46.8%	52.3%
	子どもの健全な発育に資する、乳幼児の健診や相談などの保健サービス	20.4%	19.1%
小学生 回答者数 H25:1,373人 H30:1,493人	救急医療をはじめとする子どもの医療体制	46.4%	50.9%
中学・高校生 回答者数 H25:1,086人 H30:1,396人	救急医療をはじめとする子どもの医療体制	41.4%	46.9%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成25及び30年度）

注：複数回答

○ 夜間・休日急患センター等の小児科受診状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小児救急の患者数	36,629人	37,650人	37,845人	38,055人	34,910人

注：小児救急・小児総合医療センター、夜間・休日急患センター、門司・若松休日急患診療所の患者数の合計

○ 分娩を担当する病院・診療所の数（産婦人科など）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
32か所	32か所	31か所	31か所	29か所

資料：ママになる方へー市内の産科連携体制ー

注：出産まで対応する医療機関、難産等に対応する医療機関、正常分娩に対応する助産院の数の合計

○ 予防接種率

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
麻疹風しん	95.6%	94.8%	95.4%	96.1%	96.9%